

一御繪 三幅一對

一沈香 百斤方五尺餘の臺、紅糸の網を掛、六人これをかく、

右進上之物取納させ給ふて、頓て攝家の御方、諸門跡、清華衆、残らず其沙汰に及べり、

伏見殿 九條殿 一條殿 二條殿 近衛殿 菊亭殿右府 德大寺前内大臣 尾州内府

右之御衆へ但各自にか

一繪 二幅 一虎皮 一枚 一盆 一堆紅 一小袖 三重 一太刀 一腰

即御領知の御折紙被相添、各自にまいらせらる、其外衛府所司へも小袖二重、太刀一腰宛、領知の折紙相添給ふ、是亦傳奏衆へ渡し申されけり、

〔甲子夜話〕八前人○林又云、昔トテモ權勢ノ人へハ贈遺モアレド、近來ノ如キ鄙劣ナルコトハ無

キコトナリ、今姫路ノ酒井家、モト前橋ヲ領シテ、大老勤ラレシトキ、仙臺ヨリ大筒二十挺贈リシ

トゾ、一挺ヲ車一輛ニ載ル重サナリシトナリ、今ソノ筒、江戸ト姫路ニ半ヅ、藏スト聞ク、ソノ時

鍋島家ヨリハ、伊万里焼ノ鱈皿、焼物皿、菓子皿、猪口、小皿等、凡膳具ニ陶器ニテ用ユベキ程ノ物ヲ、

千人前ニシテ送リシトナリ、只今尋常ノ客ニ掛合ノ膳ヲ供スル時、ヤハリソノ陶器ヲ用ユ、多ク

ハ敗損セシガ三ヶ一ハ尙殘レリトナリ、又高崎侯ノ祖諱輝真、松平元祿中、殊更ニ御眷注ヲ被ラ

レシカバ、人々ノ奔走モアリシガ、一日加賀侯訪問ニテ面話ノトキ、何ゾ進上ト存ズレドモ、事欠

ルベキニモ無レバ、空シク打過ス、馬ヲ好マレ候ト承リヌレバ、國製ノ鎧ニテモ進ジ候半、歟ナド

トノ物語ナリシカバ、厚意忝キノ旨挨拶アリ、加侯歸邸ノ後、使者ヲ以テ鎧百掛贈ラレケリ、折角

ノ厚情ナレバ、逆、厩ニ繫ケル馬百疋ニ鞍置セ、其鎧ヲ掛ケ使者ニ付テ、即時ニ加邸へ牽セ、此通リ

用ヒ忝旨ノ謝詞アリシトナリ、此頃ノ風儀ハ、信ニ感ジ入タル事ナラズヤ、贈ル人モ、受ル人モ、孰

レライヅレトモ云ガタシ、